

小平市第二次下水道プラン進捗状況報告

(令和3年度実績)

～快適な生活環境を支える下水道～



令和 4 年 月

小 平 市

1 計画の概要

(1) 計画の位置づけ

「小平市第二次下水道プラン」は、小平市の下水道における基本方針や施策の方向性について示すもので、今後、下水道事業を展開する上での基本となるものです。

国は、平成 26 年（2014 年）7 月に策定した『新下水道ビジョン』の実現加速のため、平成 29（2017）年 8 月に『新下水道ビジョン加速戦略』を策定し、選択と集中により 5 年程度で実施すべき 8 つの重点項目及び基本的な施策をとりまとめました。各施策の連携と「実践」「発信」を通じ、産業の活性化、さらなる施策の拡大、国民生活の安定・向上につなげるため、施策のスパイラルアップを図るものとしています。

本計画では、これらの施策の方向性を踏まえつつ、『小平市第四次長期総合計画』のめざす将来像“つながり、共に創るまち こだいら”を実現すべく、小平市の下水道が抱える課題やその他の各種関連計画に基づき、下水道が目指すべき方向と取組方針等について示しています。

(2) 計画期間

令和 3（2021）年度から令和 12（2030）年度までの 10 年間

※そのうち、前半の 5 年を前期、その後の 5 年を後期として各期間で行う施策を示しています。

また、施策の検討においては、長期的な視点も加味する必要があることから、計画期間以降の施策の方向性についても併せて示します。

2 基本理念

平成 22（2010）年度に策定した「小平市下水道プラン」では、『快適な生活環境を支える下水道』を基本理念に掲げ、市民や事業者との連携のもと、安定した経営による持続可能な下水道を目指し、更なる小平市の発展に寄与していくこととしています。

小平市第二次下水道プランでは、これらの基本理念を継承しつつ、これまでの施策の取組状況や新たに見えてきた課題等を踏まえた下水道事業を推進していくこととします。

【基本理念】

快適な生活環境を支える下水道

- 市民が長く住みたいまちであり続けるために、質の高い下水道サービスを提供していきます。
- 次世代が下水道を安心して使い続けられるよう、下水道を守り、育て、そして引き継いでいきます。
- 下水道システムのもつポテンシャルを活かし、持続可能な循環型社会の実現に貢献していきます。
- 市民や事業者と連携して、下水道が将来あるべき姿の実現を目指します。

3 施策の体系

小平市第二次下水道プランでは、4つの基本方針に対し、10の施策を定め、21の取組みを実施しています。



注. 図中の★については、全施策の中での重点施策、☆については、気候変動適応策に係る取組を示します。

4 各施策の進捗状況（令和3年度実績）

小平市下水道プランに基づく事業の令和3年度の実績数値等を以下に示します。

※目標数値等に対する計画期間は、原則、前期期間（R3～R7）とします。

ただし、これによらない場合は、別途記載します。

※令和3年度実績数値等の累計については、第二次下水道プラン初年度の令和3年度からの累計を示します。

ただし、これによらない場合は、別途記載します。

基本方針Ⅰ 環境に配慮したまちづくり

施策Ⅰ－1 汚水処理対策 (1)都市計画道路 ^{※1} 等の整備に併せた管きよ整備	
目 標	都市計画道路 ^{※1} 等の整備に併せた遅滞ない整備
目標数値等 ^{※2}	整備路線：5 路線
令和3年度実績数値等 単年度・累計	整備路線：0 路線 ・ 0 路線
取組内容	実績なし ※今後も事業担当課や関係各課等と調整を進めながら、遅滞なく整備を実施
施策Ⅰ－1 汚水処理対策 (2)未接続家屋の解消（下水道への接続依頼）	
目 標	下水道への接続促進
目標数値等	水洗化率 ^{※3} ：100 %
令和3年度実績数値等 単年度・累計	水洗化率：0 % ・ 99.9 % ^{※4}
取組内容	水洗化率の変更なし ※令和2年度末より、8世帯が水洗化

※1 対象路線：1 小平3・4・10号線（小平3・4・21号線（富士見通り）～市道第A-61号線）

2 小平3・4・19号線（小平3・4・14号線（東京街道）～東久留米市境）

3 小平3・4・12号線（小川駅～小川西町四丁目（駅前広場 約3,700㎡））

4 小平3・4・19号線（小平駅～小平3・4・14号線（東京街道）（駅前広場 約5,000㎡））

5 小平3・3・3号線（府中街道～山王通り）

※2 目標数値等に対する計画期間は、前期・後期期間（R3～R12）とする。

※3 水洗化率（%）＝下水道で汚水を処理している人口/処理区域内人口×100

※4 令和2年度末における水洗化率＝99.9%

施策Ⅰ－2 合流式下水道 ^{※1} 改善対策 (1)雨水貯留・浸透施設の設置継続					
目 標	雨水貯留・浸透施設の設置				
目標数値等	対策地区数：4 地区				
令和3年度実績数値等 単年度・累計	対策済地区数：0 地区 ・ 0 地区 〔処理量 ^{※2} ：0 m ³ ・ 0 m ³ 〕				
取組内容	工事の実績はなし				
取組状況					
対象予定地区	R3	R4	R5	R6	R7
1 学園西町3丁目・津田町3丁目（四小通り周辺地区）	設計実施				
2 小川町1丁目（美大通り周辺地区）	設計実施				
3 上水南町3丁目・4丁目（つつじ公園周辺地区）	設計実施				
4 栄町1丁目（ぐみ窪通り周辺地区）	設計実施				

※1 合流式下水道：汚水及び雨水を同一の管きよで排除し、処理する方式。分流式に比べ管路施設の建設が容易（経済的・効率的）である一方、雨天時に汚水の一部が公共用水域へ未処理で排出されるため、汚濁負荷量、病原性微生物等による公衆衛生上の安全性、きょう雑物（下水に含まれる固形物で、管きよ内の堆積物の原因となる物質）による景観に関する課題がある。

※昭和45年12月の下水道法改正以降に策定された下水道計画は、分流式下水道により整備が行われている。

※2 処理量（m³）＝浸透量（m³/hr）＋貯留量（V） （浸透量（m³/hr）：1時間あたりの地中に浸み込む水の量）

施策Ⅰ－３ 資源・エネルギーの有効活用 (1)雨水貯留施設の設置促進	
目 標	関係各課等の連携による設置促進
目標数値等	新規に建設する公共施設への雨水貯留施設の設置
令和３年度実績数値等 単年度・累計	雨水貯留施設設置数：〇箇所・〇箇所
取組内容	工事の実績はなし
施策Ⅰ－３ 資源・エネルギーの有効活用 (2)下水道資源(再生水 ^{※1} 、下水汚泥 ^{※2} 建設資材等)の利用促進	
目 標	東京都との連携による再生水の利用継続 (用水への送水、下水道施設の清掃や洗浄への利用促進) 下水道工事への下水汚泥建設資材の利用継続
目標数値等	再生材使用率 ^{※3} ：100%
令和３年度実績数値等 単年度・累計	再生材使用率：100%
取組内容	市施工工事において、使用した鉄筋コンクリート管φ700～900mm (L=355.98m)の全延長で再生材を使用
施策Ⅰ－３ 資源・エネルギーの有効活用 (3)事業者等との連携(下水熱 ^{※4} 導入検討に向けた取組)	
目 標	下水熱ポテンシャルマップ ^{※5} の提供を含む下水熱 ^{※4} 導入可能性検討
取組内容	他自治体等の事例の調査、研究などを実施

※1 再生水：高度処理等によって、種々の再利用に適するようになった下水

※2 下水汚泥：下水処理場等から下水を処理した際に発生する泥状物質

※3 再生材使用率(%)＝使用した再生材延長/使用した鉄筋コンクリート延長×100

※4 下水熱：再生可能エネルギーの一つで、ヒートポンプの原理で下水と大気の温度差を利用して空調や給湯等の熱源とするもの

※5 下水熱ポテンシャルマップ：下水熱を利用するための目安となる熱量を示したマップ

施策Ⅰ－４ 施設の適正管理 (1)下水道台帳の適正管理	
目 標	システムの継続的な活用
目標数値等	管路調査成果の取り込み実施
令和３年度実績数値等 単年度・累計	令和３年度分の各情報の取込み：100%
取組内容	維持管理情報(調査、修繕等)及び老朽化対策情報(調査、工事等)の取り込みを実施
施策Ⅰ－４ 施設の適正管理 (2)管きよのつまり、臭気対策の実施	
目 標	下水道への排出に対するPR及び定期的な点検の実施
目標数値等	PR実施回数：3回/年
令和３年度実績数値等 単年度・累計	PR実施回数：3回/年
取組内容	1 下水道への排出に対するPR ①市報 ②市ホームページ ③個別訪問 2 定期的な点検 油等の詰まりがあった店舗や、詰まりの可能性がある新規店舗について、公共汚水ます、排水設備及び周辺のマンホールの点検を実施
施策Ⅰ－４ 施設の適正管理 (3)汚水管の雨天時浸入水 ^{※1} 対策の実施	
目 標	発生区域等の把握及び調査・対策の実施
取組内容	令和４年度に予定している水位計を用いた絞込み調査に向け、他自治体等の事例の調査、研究などを実施

※1 雨天時浸入水：降雨時に分流式下水道の汚水管きよへ浸入する雨水や地下水のこと

基本方針Ⅱ 安心して暮らせるまちづくり

施策Ⅱ－１ 浸水対策（重点施策） (1)未整備地区における雨水管きょ整備

目 標	浸水シミュレーション※ ¹ により浸水リスクを有する地区への整備
目標数値等	対策地区数：7 地区 〔雨水管きょ整備率※ ² ：24.2 %〕
令和3年度実績数値等 単年度・累計	対策済地区数：1 地区 ・ 1 地区 〔雨水管きょ整備率：0.6 % ・ 22.4 %〕
取組内容	令和3年度は4地区において工事を実施（うち、1地区は対策済み）

取組状況

対象予定地区	R3	R4	R5	R6	R7
1 大沼町1丁目（七小通り周辺地区）	工事実施				
2 大沼町4丁目（大沼通り周辺地区）	工事実施				
3 花小金井4丁目 （新青梅街道花小金井四丁目交差点周辺地区）					
4 花小金井5丁目（野中通り周辺地区）	工事実施				
5 花小金井5丁目（小金井街道西側地区）	工事実施 【対策済み】				
6 花小金井6丁目（東部公園周辺地区）					
7 美園町3丁目（小平霊園周辺地区 【小平都市計画道路3・4・19号線整備関連】）					
各年度の整備率（%） （令和2年度未整備率 21.8 %）	22.4%				

※工事内容

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 大沼町1丁目（七小通り周辺地区） | 整備延長：φ300～700mm、L=239.1m |
| 2 大沼町4丁目（大沼通り周辺地区） | 整備延長：φ250～900mm、L=322.2m |
| 4 花小金井5丁目（野中通り周辺地区） | 整備延長：φ300～900mm、L=162.5m |
| 5 花小金井5丁目（小金井街道西側地区） | 整備延長：φ250～500mm、L=239.2m |

※¹ 浸水シミュレーション：コンピューター上で対象区域の地形や施設等の現状を再現し、その中で様々な降雨条件や下水道の施設整備状況（現況、計画）を考慮した上で、浸水被害の状況（浸水エリア、浸水深等）を予測するもの

※² 雨水管きょ整備率（%）

＝雨水管きょ整備済み区域面積／雨水管きょ整備対象区域面積（分流式下水道※³654.6ha）×100

※³ 分流式下水道：汚水と雨水を別々の管きょ系統で排水する方式

施策Ⅱ－１ 浸水対策（重点施策） (2)雨水貯留・浸透施設の設置促進

目 標	浸水シミュレーションにより浸水リスクを有する地区への整備
目標数値等	対策地区数：3 地区
令和3年度実績数値等 単年度・累計	対策済地区数：0 地区・0 地区 〔処理量 ^{*1} ：0 m ³ ・0 m ³ 〕
取組内容	工事の実績はなし

取組状況

対象予定地区	R3	R4	R5	R6	R7
1 花小金井6丁目 (多摩湖自転車歩行者道周辺地区)	設計実施				
2 花小金井7丁目 (天神通り周辺地区)	設計実施				
3 鈴木町1丁目 (鈴木中通り周辺地区)	設計実施				

施策Ⅱ－１ 浸水対策（重点施策） (3)市民等との連携（被害軽減に対する取組）

目 標	関係各課等の連携による浸水に対する情報提供や防災訓練等の継続的な実施
目標数値等	浸水に対する情報提供、防災訓練等の実施回数：3 回/年
令和3年度実績数値等 単年度・累計	浸水に対する情報提供、防災訓練等の実施回数：2 回/年
取組内容	対象訓練 ・令和3年5月15日 小平市総合水防演習 ・令和3年11月8日 応急給水訓練 ※小平市総合防災訓練は衆議院選挙により中止

※1 処理量 (m³) = 浸透量 (m³/hr) + 貯留量 (V) (浸透量 (m³/hr) : 1時間あたりの地中にしみ込む水の量)

施策Ⅱ－２ 地震対策（重点施策） (1)重要な管きよの耐震化

目 標	重要な管きよの耐震化
目標数値等	中大口径管路の耐震化：0.6 km 〔重要な管きよの耐震化率 ^{*1} ：98.6%〕
令和3年度実績数値等 単年度・累計	中大口径管路の耐震化：0.0 km・0.0 km 〔重要な管きよの耐震化率：98.1% ^{*1} 〕
取組内容	令和3年度は耐震化工事の設計を実施

施策Ⅱ－２ 地震対策（重点施策） (2)下水道事業業務継続計画（下水道BCP）の管理運営等

目 標	下水道BCPの見直し及び実地訓練の実施等
取組内容	1 人事異動等に伴う下水道BCPの見直し 2 実地訓練の実施 ①下水道課全職員（嘱託職員を除く）を対象とした庁内研修 ②下水道BCPに基づいた実施訓練（ロールプレイング形式） ③下水道BCPに基づいた情報連絡訓練 ※東京都流域下水道本部、多摩地域市町村、協定先民間企業と連携し、「多摩地域の下水道事業における災害時支援に関するルール（多摩ルール）」及び「災害時支援協定」に基づく情報連絡訓練及び協定先民間企業への支援を想定したシミュレーション訓練

※1 令和2年度末における耐震化率=98.1%
重要な管きよの耐震化率(%) = 耐震化済み延長/耐震化対象路線延長(119km) × 100
(重要な管きよの耐震化率は、令和元年度末時点の対象延長119kmを基準に算定した場合)
令和7年度末 117.3km/119km × 100 = 98.6%

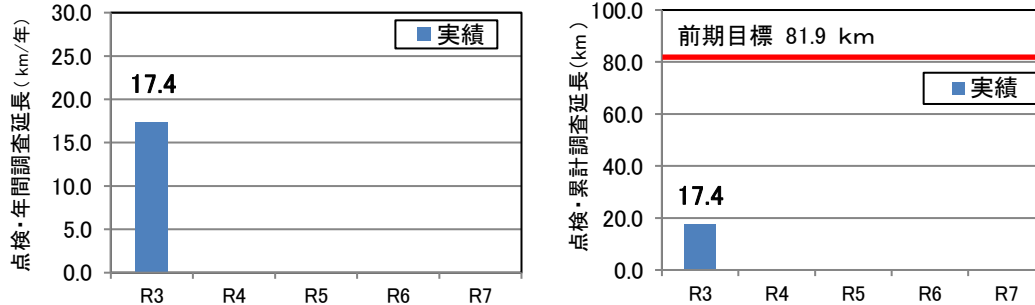
施策Ⅱ-3 施設の老朽化対策（重点施策） (1)計画的な点検・調査の実施

目標	第2・3期区域内の点検・調査の実施
目標数値等	点検・調査延長：81.9 km 〔点検・調査達成率 ^{※1} ：40.7 %〕
令和3年度実績数値等 単年度・累計	点検・調査延長：17.4 km ・ <u>17.4 km</u> 〔点検・調査達成率：3.2 % ・ <u>28.6 %</u> ^{※2} 〕

取組内容・状況

令和3年度の点検・調査箇所：仲町処理分区

※令和元年度末に策定した「小平市下水道ストックマネジメント実施方針」に基づき、第2期区域内において、点検・調査を実施



- ※1 点検・調査達成率 (%) = 点検・調査済み延長 / 点検・調査対象延長 (533km^{※3}) × 100
令和2年度末：135.2km / 533km × 100 = 25.4 % → 令和7年度末：217.1km / 533km × 100 = 40.7 %
- ※2 令和3年度末：(135.2km + 17.4km) / 533km × 100 = 28.6 %
- ※3 令和元年度末時点の点検・調査対象延長

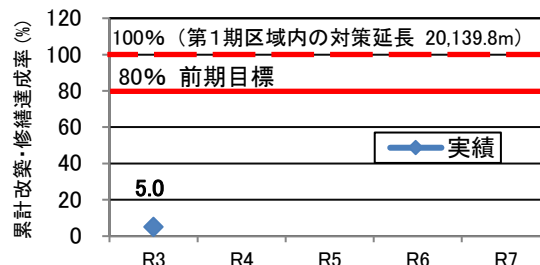
施策Ⅱ-3 施設の老朽化対策（重点施策） (2)計画的な改築・修繕の実施

目標	第1期区域内の改築・修繕工事の実施
目標数値等	改築・修繕達成率 ^{※1} ：80 %
令和3年度実績数値等 単年度・累計	改築・修繕達成率：5.0 % ・ <u>5.0 %</u> 〔対策延長：1,010.5 m ・ <u>1,010.5 m</u> (内訳) 改築スパン延長：1,010.5 m ・ <u>1,010.5 m</u> 修繕スパン延長：0.0 m ・ <u>0.0 m</u> 〕

取組状況

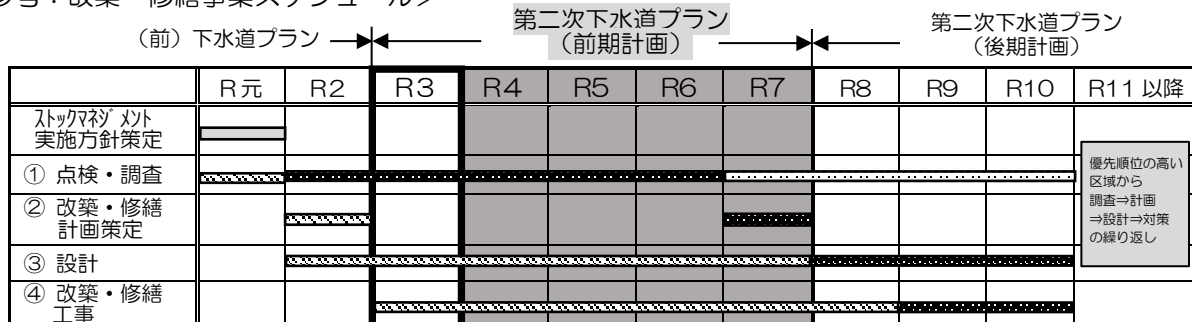
令和3年度の改築工事箇所：学園処理分区

※令和元年度末に策定した「小平市下水道ストックマネジメント実施方針」に基づき、第1期区域内において、改築・修繕工事を実施



- ※1 改築・修繕達成率 (%) = 改築・修繕工事実施済み路線 (スパン^{※2}) / 対策区域における改築・修繕工事選定路線 (スパン (20,139.8m^{※3})) × 100
- ※2 スパン：マンホール間を1スパンとする。
- ※3 調査・点検の結果による、第1期区域内の改築・修繕工事が必要な延長

<参考：改築・修繕事業スケジュール>



注. 事業工程：実施方針で設定した点検・調査から改築・修繕工事までを、優先順位の高い区域から

①→②→③→④により実施

注. 優先順位： 第1期の区域「学園処理分区、喜平処理分区、学園幹線、仲町幹線、喜平幹線、天神幹線、たかの台幹線、小川4号幹線、小川幹線」

第2期の区域「上水南処理分区、仲町処理分区、天神東処理分区」

第3期の区域「上水東処理分区、小平第一処理分区(花小金井西、花小金井北、美園)」

基本方針Ⅲ 環境意識が高いまちづくり

施策Ⅲ－１ 環境学習の充実・普及啓発 (1)下水道や水環境に対する情報発信																																																																																					
目 標	下水道事業の取組についてのPR促進、水環境に対する情報発信																																																																																				
目標数値等	ふれあい下水道館ホームページの定期的な更新：36 回/年																																																																																				
令和3年度実績数値等 単年度・累計	ふれあい下水道館ホームページの更新：42 回/年																																																																																				
取組内容	学習講座のお知らせ：13 回 ※5月の学習講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 イベント・展示会のお知らせ：10 回 その他施策等に関するお知らせ：19 回																																																																																				
施策Ⅲ－１ 環境学習の充実・普及啓発 (2)下水道施設等を活用した環境学習・普及啓発																																																																																					
目 標	イベントの開催や展示の実施																																																																																				
目標数値等	イベントの開催回数：24 回/年																																																																																				
令和3年度実績数値等 単年度・累計	イベントの開催回数：29 回/年																																																																																				
取組内容	イベント・展示等：15 回 環境学習講座：14 回 <参考> ふれあい下水道館の来館者数のまとめ <table border="1"> <caption>ふれあい下水道館の来館者数のまとめ (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>単年度 (人)</th> <th>累積 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H7</td><td>17,000</td><td>17,000</td></tr> <tr><td>H8</td><td>23,000</td><td>40,000</td></tr> <tr><td>H9</td><td>24,000</td><td>64,000</td></tr> <tr><td>H10</td><td>24,000</td><td>88,000</td></tr> <tr><td>H11</td><td>22,000</td><td>110,000</td></tr> <tr><td>H12</td><td>21,000</td><td>131,000</td></tr> <tr><td>H13</td><td>20,000</td><td>151,000</td></tr> <tr><td>H14</td><td>22,000</td><td>173,000</td></tr> <tr><td>H15</td><td>21,000</td><td>194,000</td></tr> <tr><td>H16</td><td>21,000</td><td>215,000</td></tr> <tr><td>H17</td><td>19,000</td><td>234,000</td></tr> <tr><td>H18</td><td>18,000</td><td>252,000</td></tr> <tr><td>H19</td><td>17,000</td><td>269,000</td></tr> <tr><td>H20</td><td>17,000</td><td>286,000</td></tr> <tr><td>H21</td><td>17,000</td><td>303,000</td></tr> <tr><td>H22</td><td>16,000</td><td>319,000</td></tr> <tr><td>H23</td><td>16,000</td><td>335,000</td></tr> <tr><td>H24</td><td>16,000</td><td>351,000</td></tr> <tr><td>H25</td><td>17,000</td><td>368,000</td></tr> <tr><td>H26</td><td>18,000</td><td>386,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>19,000</td><td>405,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>21,000</td><td>426,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>20,000</td><td>446,000</td></tr> <tr><td>H30</td><td>22,000</td><td>468,000</td></tr> <tr><td>R1</td><td>22,000</td><td>490,000</td></tr> <tr><td>R2</td><td>15,000</td><td>505,000</td></tr> <tr><td>R3</td><td>15,000</td><td>520,000</td></tr> </tbody> </table> ※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、触れ合い下水道館を一時臨時休館としたほか、団体見学や学習講座、イベント等の中止を含む制限を図った。	年度	単年度 (人)	累積 (人)	H7	17,000	17,000	H8	23,000	40,000	H9	24,000	64,000	H10	24,000	88,000	H11	22,000	110,000	H12	21,000	131,000	H13	20,000	151,000	H14	22,000	173,000	H15	21,000	194,000	H16	21,000	215,000	H17	19,000	234,000	H18	18,000	252,000	H19	17,000	269,000	H20	17,000	286,000	H21	17,000	303,000	H22	16,000	319,000	H23	16,000	335,000	H24	16,000	351,000	H25	17,000	368,000	H26	18,000	386,000	H27	19,000	405,000	H28	21,000	426,000	H29	20,000	446,000	H30	22,000	468,000	R1	22,000	490,000	R2	15,000	505,000	R3	15,000	520,000
年度	単年度 (人)	累積 (人)																																																																																			
H7	17,000	17,000																																																																																			
H8	23,000	40,000																																																																																			
H9	24,000	64,000																																																																																			
H10	24,000	88,000																																																																																			
H11	22,000	110,000																																																																																			
H12	21,000	131,000																																																																																			
H13	20,000	151,000																																																																																			
H14	22,000	173,000																																																																																			
H15	21,000	194,000																																																																																			
H16	21,000	215,000																																																																																			
H17	19,000	234,000																																																																																			
H18	18,000	252,000																																																																																			
H19	17,000	269,000																																																																																			
H20	17,000	286,000																																																																																			
H21	17,000	303,000																																																																																			
H22	16,000	319,000																																																																																			
H23	16,000	335,000																																																																																			
H24	16,000	351,000																																																																																			
H25	17,000	368,000																																																																																			
H26	18,000	386,000																																																																																			
H27	19,000	405,000																																																																																			
H28	21,000	426,000																																																																																			
H29	20,000	446,000																																																																																			
H30	22,000	468,000																																																																																			
R1	22,000	490,000																																																																																			
R2	15,000	505,000																																																																																			
R3	15,000	520,000																																																																																			

基本方針Ⅳ 効率的で健全な下水道経営の推進

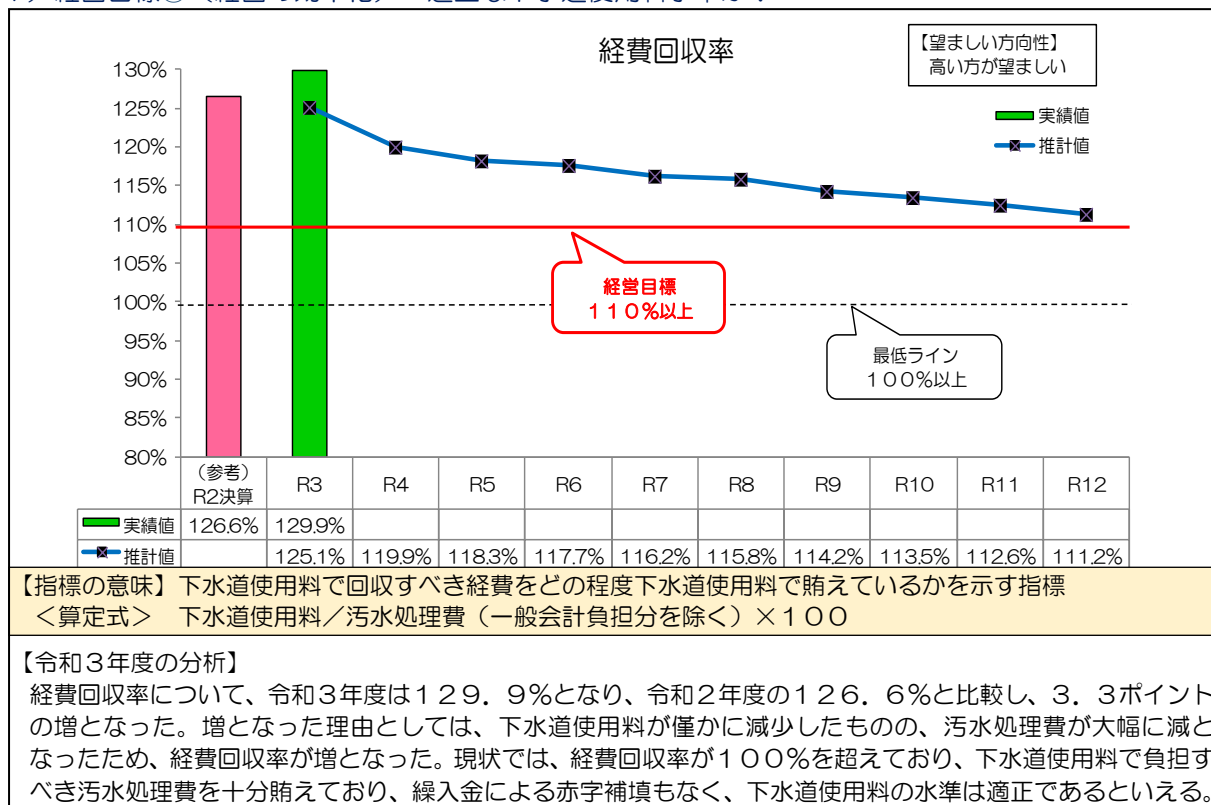
施策Ⅳ－１ 経営の効率化・財政の健全化 (1)経営戦略^{*1}の進捗管理及び見直し

目標	投資・財源試算に基づく経営戦略の進捗管理及び見直し
取組内容	「経営目標」進捗管理表、令和3年度の概要（総括）参照

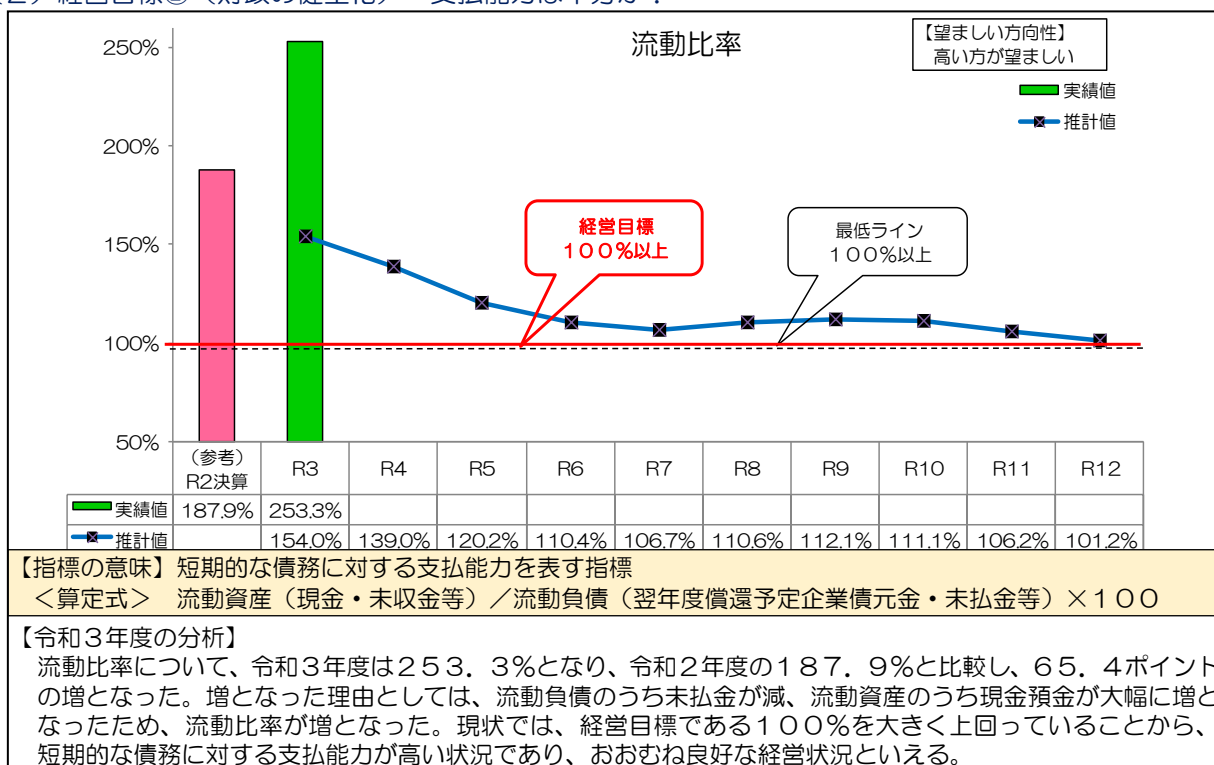
※1 経営戦略：各公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画

「経営目標」進捗管理表（令和3年度）

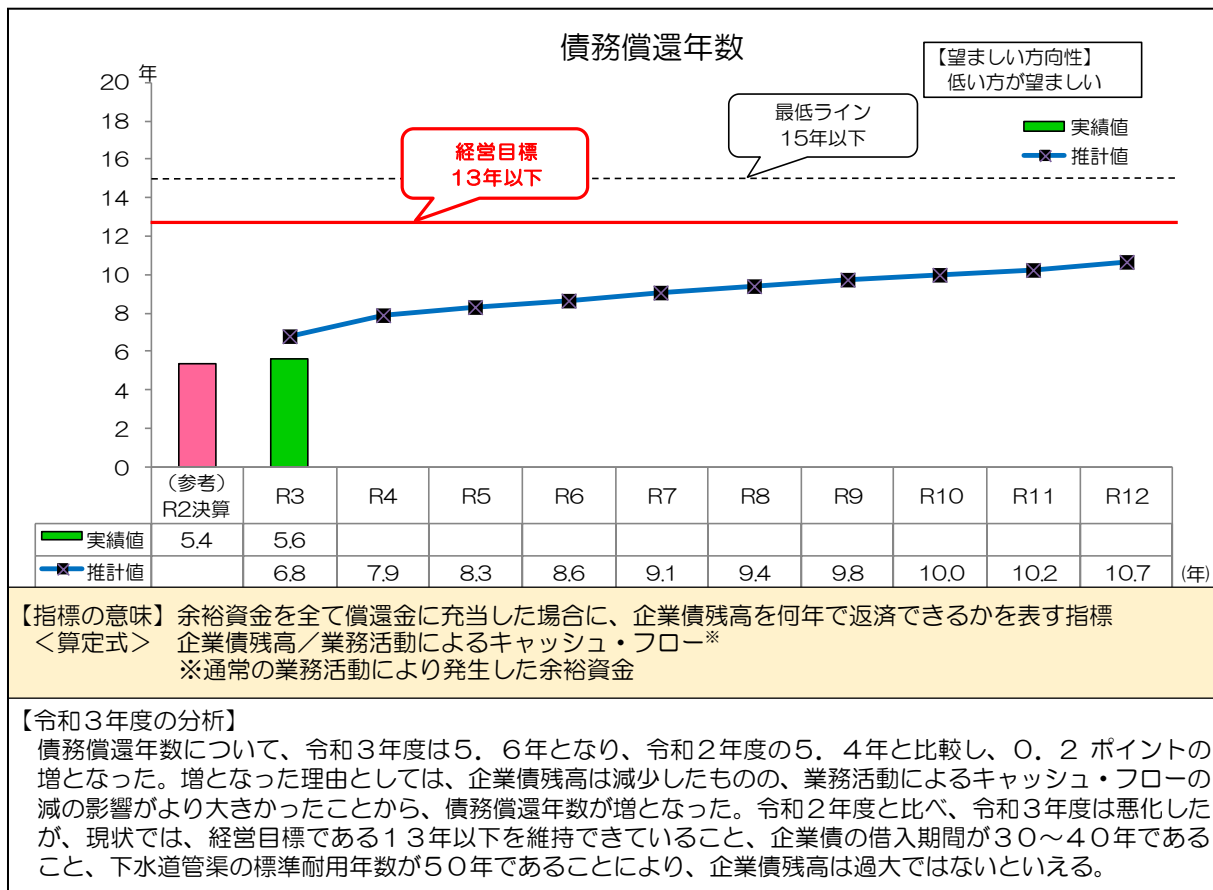
(1) 経営目標①（経営の効率化）～適正な下水道使用料水準か？～



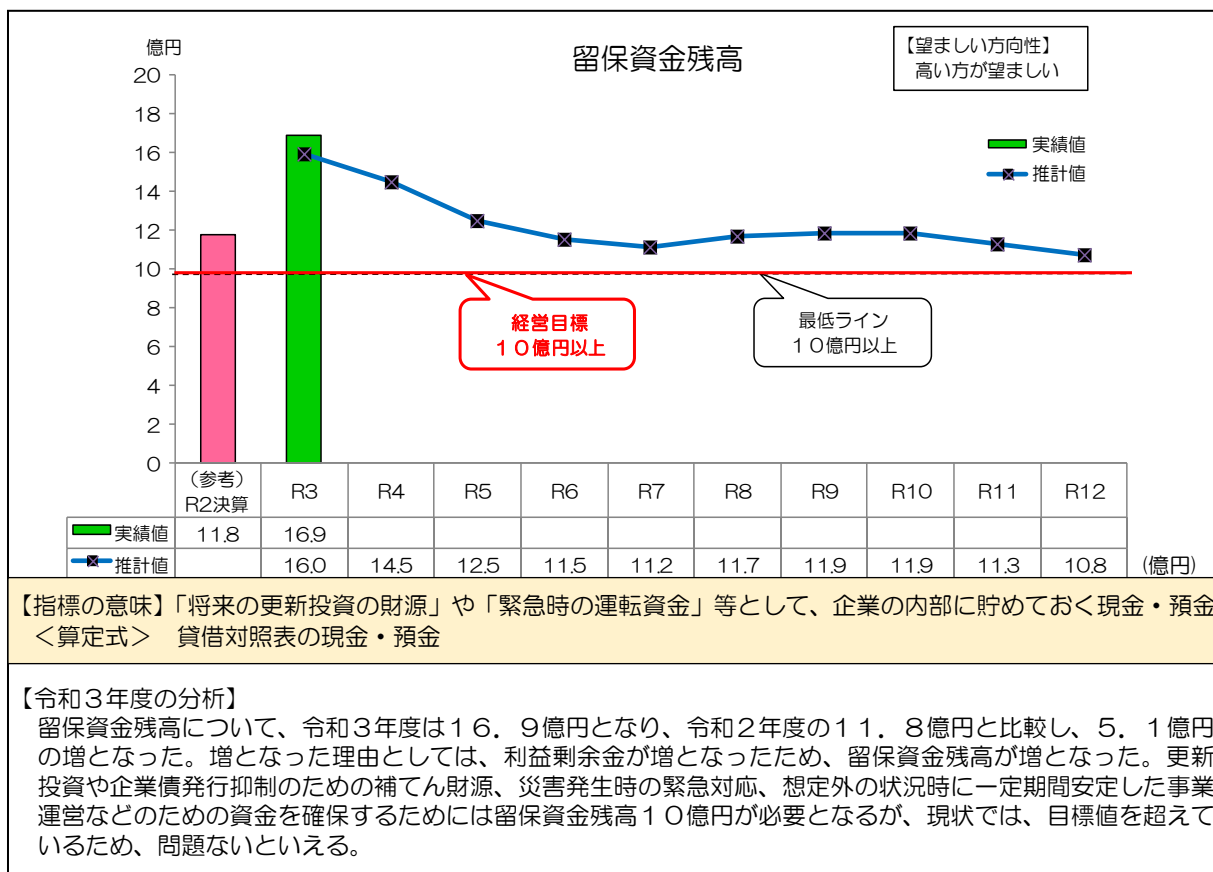
(2) 経営目標②（財政の健全化）～支払能力は十分か？～



(3) 経営目標③ (財政の健全化) ~収入に見合う企業債残高か?~



(4) 参考 ~経営に必要な資金は確保できているか?



令和3年度の概要（総括）

令和3年度は、3つの経営指標（経費回収率、流動比率、債務償還年数）と留保資金残高の目標をすべて達成していることや、小平市第二次下水道プラン策定時に行ったシミュレーションによる将来推計値よりもすべて望ましい状況となっていることから、良好な経営状況にあります。

令和3年度の当年度純利益（税抜）は、4.8億円となり、令和2年度の4.5億円と比較し、0.3億円の増となりました。これは、下水道使用料や長期前受金戻入などの収入が減となったものの、減価償却費や老朽化対策修繕などの費用が大幅に減となったことから、当年度純利益が増となったものです。

今後は、人口減少による下水道使用料の減や、施設の老朽化による更新投資の増により、指標が悪化していくことが見込まれます。そのため、3つの経営指標と留保資金残高を主な判断材料とし、下水道使用料の改定や企業債発行の抑制、基金の活用方法を検討していく必要があります。

施策Ⅳ-1 経営の効率化・財政の健全化 (2)広域化・共同化の研究	
目 標	広域化・共同化の研究及び基本計画に基づく取組の検討
取組内容	東京都及び30市町村等による「下水道事業の「広域化・共同化検討会」」に参加
施策Ⅳ-2 公営企業会計の運用 (1)公営企業会計※1に基づく財政運営の見える化	
目 標	経営比較分析表※2の公表
取組内容	令和4年度中に、東京都のホームページで公表したのち、市のホームページで公表予定 ※令和2年度については、令和4年2月に公表済み

※1 公営企業会計：独立した企業として経営を成り立たせていく会計制度。これにより財政の適正化、下水道使用料の最適化等へ結びつき下水道基盤強化に直接繋がる効果が期待される。

※2 経営比較分析表：経営指標の経年比較や他の公営企業との比較などを行い、現状や課題等を的確に把握するとともに、わかりやすく説明するため、総務省の様式に基づき、毎年度策定し公表するもの。

4 進捗状況報告のまとめ

令和3年度は、4つの基本方針に基づく各施策に対する取組みについて、順調に実績値等が示されました。

重点施策では、浸水対策である『未整備地区における雨水管きよ整備』について、1地区が対策済みとなり、地震対策や老朽化対策についても、調査・設計や工事など目標を達成するための取組みを実施しました。

今後の下水道事業は、限られた財源で最大限に事業効果を発揮できるよう取り組んでいく必要があります。着実かつ効率的に施策の各取組みを実施し、下水道事業を推進していきます。